



な が は ま

# 市議会だより

Vol.36

平成27年1月15日発行  
発行：長浜市議会  
編集：議会だより編集委員会

平成26年長浜市議会第4回定例会をもって、この議場での議会開催は終了になりました。  
この庁舎が昭和27年に建設され、翌28年から62年間、多くの議会が開催されました。  
長い間ありがとうございました、そしてさようなら。



## あけましておめでとうございます

平成26年12月定例会が11月28日から12月19日まで(22日間)の日程で開催されました。

第3回 市民との意見交換会を開催しました	2面
常任委員会での審査をお知らせします	3面
行政に問い合わせしたこと（個人一般質問事項と答弁概要）	4～10面
議案に対する各議員の賛否・常任委員会の活動報告	11面
新議場のご案内、議会の予定、お知らせ、編集後記	12面

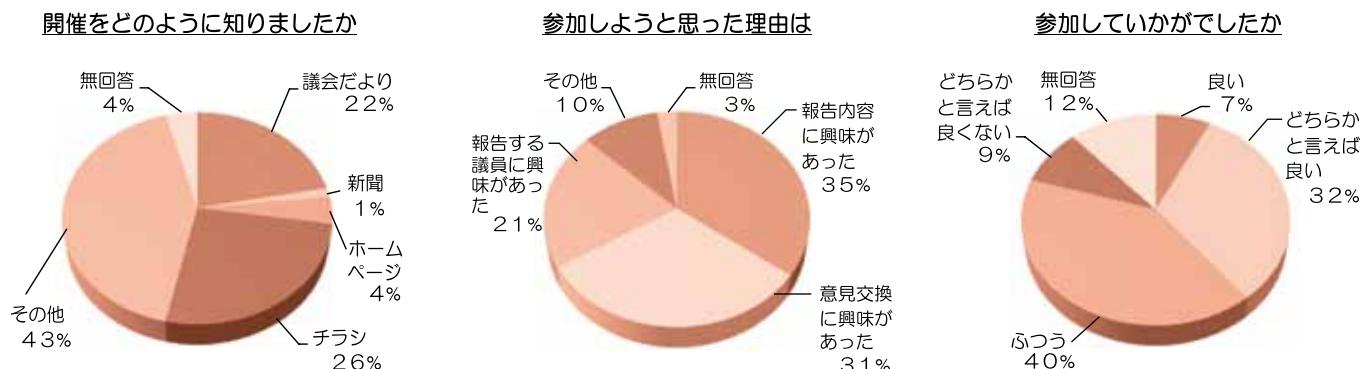
### 第3回

# 意見交換会を開催しました

平成26年11月13日（木）に浅井支所にて、11月14日（金）に湖北支所にて、平成25年度の決算報告、「豪雨に伴う水害対策」をテーマとした意見交換、その他自由な意見交換をしました。2会場合計74人のご参加をいただきましたとともに、多くの貴重なご意見等をいただき、誠にありがとうございました。

### 第3回意見交換会アンケート集計結果

参加者74人中69人の方から回答をいただきました（回答率93%）



長浜市役所 浅井支所  
参加人数 36人

### 主な意見と回答

- 問 幼稚園給食開始に伴う配膳室改修工事はなぜ必要か。  
答 納入センターが新設され幼稚園給食開始に対応するため。
- 問 小谷スマートICの利用価値と利用台数の目標は。  
答 国からの働きかけもあり市の活性化のための整備と捉えている。ETCを活用し、事業所の誘致等図っていく必要がある。目標は2,000台ですが、中日本高速道路と協議していく。
- 問 12万人の都市に大ホールがないのはなぜか。  
答 市民会館が閉鎖されており、浅井文化ホールやリユートプラザなどで対応できている。
- 問 「議員報酬・政務活動費」をテーマにあげた根拠は。  
答 当市議会での取り組みを知っていただくため。



長浜市役所 湖北支所  
参加人数 38人

### 主な意見と回答

- 問 各事業決算額の国や県が負担している額を提示してほしい。  
答 今後は、いろいろな資料の中で示していきます。
- 問 赤川は水害の危険度が高いと思う、すぐに対策してほしい。  
答 赤川は一級河川のため、湖北の河川整備計画の早期発表とあわせて県に要望していきます。
- 問 丹生ダムは市と県の考えが一致せず流域河川の治水も進まない。なんとかしてほしい。  
答 今後とも重要課題として県に要望していきます。
- 問 大きな水害が起こってからでは遅い、湖北の河川治水を国と県と市が連携して進めていってほしい。  
答 議会として引き続きしっかりと取り組んでいきます。

★これ以外にも、多数のご意見をいただきありがとうございました。

その他のご意見等につきましては、長浜市議会ホームページに掲載してまいります。

皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、これから議会活動などに反映してまいります。

## 子ども・子育て支援新制度に伴う 基準条例等を審査

### 総務教育常任委員会

第4回定例会で付託された議案36件について審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

当委員会に付託を受けました議案は「平成26年度長浜市一般会計補正予算（第7号）」等22件で、慎重審査の結果、いずれも承認・可決すべきものと決しました。  
▼補正予算では、衆議院議員総選挙の執行経費や、平成26年人事院勧告等を踏まえた職員給与改定のほか、異動、退職見込等による人件費の補正について審査しました。その他、平成28年1月から始まる社会保障・税番号制度に伴う中間サーバープラットフォーム整備・運用に伴う経費、びわ文化学習センター屋上防水工事及び各公共施設等の指定管理に関する債務負担行為、神照公民館整備に係る繰越明許などの議案について活発な議論が交わされました。

▼条例は、子ども・子育て支援新制度施行に合わせ必要となる基準の制定2件のほか一部改正6件です。  
▼公共施設等の指定管理者の指定については、5件を審査しました。

▼また、現在工事中の認定こども園2園に係る工事請負契約に関し、労務等単価の基準変更による増額変更について審査しました。

▼議案以外の協議事項は、「草の根災害対応補助事業」、「第3次長浜市行政改革大綱（原案）」及び「公共施設等総合管理計画（原案）」です。

## 健康福祉・医療関連の補正予算等を審査

### 健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成26年度長浜市一般会計補正予算（第7号）」ほか診療所特別会計補正予算（第3号）・介護保険特別会計補正予算（第2号）・病院事業会計補正予算（第1号）、条例関係3件、規約の変更1件、指定管理者の指定1件であり、慎重審査の結果、いずれも可決すべきものと決しました。  
▼平成26年度一般会計補正予算の内容は、高齢者福祉施設設備の改修、福祉避難所の備蓄品購入やがん検診業務費用の追加です。病院事業会計補正予算の内容は、医薬品及び診療材料費の増額や平成27年度末に完成する診療支援棟に設置する高度医療機器購入費です。  
▼条例は、子ども・子育て支援法改訂に伴い放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定ほか2件です。

▼請願第13号「高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願」及び、請願第14号「子ども医療費助成制度の拡充を求める請願」はいずれも不採択すべきものと決しました。

▼その他、議案以外の協議事項として「事業用再生可能エネルギー発電設備等導入促進事業」、「介護保険事業」、「病院事業改革プラン改訂版の策定」について当局からの説明を受けました。

## 平成26年度補正予算等を審査

### 産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成26年度長浜市農業振興地域制度における農振除外要件の見直しを求める意見書」は、賛成多数で可決すべきものと決しました。  
▼意見書案第7号「農業振興地域制度について」、「道路整備アクションプログラムについて」、「長浜市下水道ビジョン策定にかかる経過報告」について当局からの説明を受けました。

# 個人一般質問

## 安全・防災

### 丹生ダム検証問題について



轟 保幸（新しい風）



問 市は丹生ダム検証の高時川下流住民の意向はどうするのかを問う。

答 県流域治水条例は「ながす」対策が基幹であり、県はダム検証と並行し湖北圏域河川整備計画の策定中であり、この中で高時川の洪水対策や瀬切れ対策が示されると認識しています。市はこれらへの対策促進が下流住民の意向であると考えています。



問 耐震基準を満たしていない、湯田・びわ・虎姫・高月公民館の耐震計画を問う。

答 湯田・びわ公民館は耐震基準を満たしていない、虎姫・高月公民館は耐震診断を速やかに実施し、結果を踏まえて今後の整備方針を検討していきます。

問 現状の学校長の在籍年数を問う。

答 今年度の状況は、小学校は23年、中学校は13年、最長は小学校で5年、中学校で6年。

問 現在の原発再稼働について、エヌルギー政策、安全性の両面からどのようにお考えか。また、原子力防災訓練を重ねておられるが、全市民を安全に避難させることへの手応えと、今後の課題・対策を問う。

答 平成25年から27年度の3年間で市内小・中学校40校のうち35名が退職となり、今後は年齢にかかるわらず優秀人材を積極的に配置する。



森田義人（新しい風）

### 公民館の耐震計画について

問 限界集落対策はどうなのかを問う。

答 市では、降雪時の生活道路確保、雪おろし補助、医療の確保、獣害対策に取り組んでいます。今後も暮らしの維持、活性化を進めます。



問 市内、小・中学校（校長）のあるべき在職年数について

問 教育長が定める学校長像と在職年数は。

答 自身の教育観、強いリーダー制、責任を取る以上3点が大変重要なと考えている。校長職は1年が勝負と思っている。

問 現状の学校長の在籍年数を問う。

答 今年度の状況は、小学校は23年、中学校は13年、最長は小学校で5年、中学校で6年。

問 現在の原発再稼働について、エヌルギー政策、安全性の両面からどのようにお考えか。また、原子力防災訓練を重ねておられるが、全市民を安全に避難させることへの手応えと、今後の課題・対策を問う。

答 将来的には原子力発電に依存しない社会の実現を求め、国は安全にもっとも重要な審査のうえ、経過や根拠を説明すべきである。また、実際の避難には交通渋滞や電力の供給など、厳しい状況が予測される。今後はより現実的な訓練も必要であると考えている。

問 今年の、農家を取り巻く経営環境は非常に厳しい。農家が営農意欲を失わないための対策をされるつもりはないのか問う。

答 市としても、営農意欲を失わないよう、国の施策と連携し、関係団体の皆様と一緒に前向きな議論をしていきたい。

### 原発について

松本長治（新しい風）

## 安全・防災

### 丹生ダム検証問題について



轟 保幸（新しい風）

問 限界集落対策はどうなのかを問う。

答 市では、降雪時の生活道路確保、雪おろし補助、医療の確保、獣害対策に取り組んでいます。今後も暮らしの維持、活性化を進めます。



問 市内、小・中学校（校長）のあるべき在職年数について

問 教育長が定める学校長像と在職年数は。

答 自身の教育観、強いリーダー制、責任を取る以上3点が大変重要なと考えている。校長職は1年が勝負と思っている。

問 市は丹生ダム検証の高時川下流住民の意向はどうするのかを問う。

答 県流域治水条例は「ながす」対策が基幹であり、県はダム検証と並行し湖北圏域河川整備計画の策定中であり、この中で高時川の洪水対策や瀬切れ対策が示されると認識しています。市はこれらへの対策促進が下流住民の意向であると考えています。



問 耐震基準を満たしていない、湯田・びわ・虎姫・高月公民館の耐震計画を問う。

答 湯田・びわ公民館は耐震基準を満たしていない、虎姫・高月公民館は耐震診断を速やかに実施し、結果を踏まえて今後の整備方針を検討していくことを問う。

問 現状の学校長の在籍年数を問う。

答 今年度の状況は、小学校は23年、中学校は13年、最長は小学校で5年、中学校で6年。

問 現在の原発再稼働について、エヌルギー政策、安全性の両面からどのようにお考えか。また、原子力防災訓練を重ねておられるが、全市民を安全に避難させることへの手応えと、今後の課題・対策を問う。

答 平成25年から27年度の3年間で市内小・中学校40校のうち35名が退職となり、今後は年齢にかかるわらず優秀人材を積極的に配置する。





# 子育て・福祉

## 市内のホームヘルパーさんの不足状態について



藤井繁 (新しい風)

問 市内各福祉施設でのホームヘルパーさんの不足状態の原因について問う。

答 労働人口の減少してゆく中、介護現場では、賃金水準が低い、待遇が不十分、夜勤がきつい、昇給が少ない、将来展望が持てないなどの声が主たる意見となっています。

問 ホームヘルパーさん不足状態解消に向けた国・県・市当局の取り組みについて問う。

答 介護人材の確保の方性として国・県では「医療介護確保推進法」に基づき、量・質・環境の改善、「介護従事者待遇改善法」



## ひきこもり対策について



草野豊 (改革ながはま)

問 中学校を卒業してからの生徒への関わりについて。

答 卒業後を見据え関係機関、進学先へスマートな移行支援に努めている。卒業後も情報交換を行なうなど適宜連携を図っている。

問 若者の実態、支援窓口、家族支援等について。

答 県の推計によると、長浜市の15～39歳の若者では48人程度とされている。市としては6月に誘致した県介護福祉人材センターと連携し人材確保の取り組みを行っている。

問 子ども・若者育成支援法での動きについて。

答 若者の抱える問題の



## 第6期ゴールドプランながはま21策定の進捗状況について



浅見信夫 (日本共産党)

問 政府は「医療・介護総合法」を強行可決し、多くの高齢者を介護サービスから除外する。深刻化や個別分野における縦割りから、横断的な連携の強化が急がれる。市では各組織で重層的かつ横断的に支援していく体制や組織はある。

問 地域の理解度について。

答 ひきこもりは様々な要因が背景にあり非常に難しい。相談に繋がらない人が多く、より一層の啓発が必要と考える。市としての支援センターや支援員の配置は、連携を強化し今後検討していく。

問 改悪を行った。長浜市では現在、第6期ゴールドプランながはま21の検討が進められているが、要支援者1・2のサービス切り捨ての不安がある介護予防・日常生活支援総合事業、特養入所の「要介護3」以上の限定、利用抑制を引き起こさせる利用料・介護保険料の引き上げなどの改悪を許さず、高齢者が安心できる制度の確立をめざした計

画の検討、策定が求められるが、計画策定の進捗等について問う。

答 介護予防・日常生活支援総合事業は平成28年度からの実施を計画、軽度の方でも個別の状況把握による適切に入所できるよう対応する。平成27年8月から一定所得のある方は2割の利用者負担となり、介護保険料は第6期は千円程度引き上げと見込んでいる。



## 子ども医療費助成制度について

教

育



鬼頭明男（日本共産党）



## 夢を紡ぐ学習支援を

長浜市における

## 義務教育について



西邑定幸（新しい風）



峰山紀子（公明党）

問 子ども医療費拡大に  
対する市民の声を市はどう  
受けとめているのか？

答 年代を限定するい  
べきだ！

問 長浜市の学習支援事  
業について。

で週2回実施。高田教室  
に14名、木之本教室に8  
名参加、支援には教員〇  
塾は被保護世帯の中学生  
を対象に学習意欲の喚  
起および基礎学力の向上  
を図り、高等学校への進  
学率を高めるとともに、  
さうなる進学や安定した  
就労の実現を目指し、本  
年5月27日に開講、高田  
田と木之本にあわづヶ  
所の社会福祉協議会施設

問 学力向上の為、児童  
生徒に対し、どんな工夫  
をした取り組みを行って  
いるのか問う。

答 体育科授業の改善や  
結果に即し、具体的で実  
効ある指導を行う等に行  
っている。まだ、次年度に  
向け「わかりたい」「学  
びたい」という子どもの  
想いに応える為の方策を  
検討中。

問 体力の向上の為、部  
活動を含め、具体的に如  
何なる取り組みを実施し  
ているのか問う。

答 体育科授業の改善や  
結果に即し、具体的で実  
効ある指導を行う等に行  
っている。まだ、次年度に  
向け「わかりたい」「学  
びたい」という子どもの  
想いに応える為の方策を  
検討中。

問 潜在的にいじめもあ  
ると聞くが、解決に向け  
ての取り組みを問う。

答 いじめ問題対策事業  
として、加配教員を配置  
し、些細な事象も見逃さ  
ない体制や未然防止の  
為、教育相談活動を実施  
している。



**黒壁ガラスの再建計画の現状とその成果について**



吉田 豊（改革ながはま）

問 経営再建の成果と財政運営について問う。

答 5年後には経常利益を5千円とするべく取り組んでいるが、1年目26年3月期決算で2千9百万円の経常損失の計画が1千7百万円に抑えられた。本期は初期投資、飲食部門の低迷、リユーアル店舗の開店の遅れ等で、業績が伸び悩んだが、秋以降徐々に売上が伸び、市としては計画が達成できると期待している。

問 副市長が担つてこられた具体的役割について。

答 施策全体を俯瞰的に見つめ、精査し組み立て、今秋からは経営改革委員会を設置し、社員中心にワーキングチームを組み、更なる経営削減や顧客の獲得に全力を挙げている。市も副市長が副社長の立場から、経営分析や金融機関との意見調整を行い、取締役会において黒壁の方向性について議論をしている。黒壁は長浜のシンボルとして将来に引き継ぐ地域資産であると考えている。今後も官民一体となつて取り組みが実を結び、経営改善がスマーズに進む様に積極的に関わっています。

**地方創生に向けた骨太の取組について**



押谷與茂嗣（所属会派なし）

問 副市長が担つてこられた具体的役割について。

答 施策全体を俯瞰的に見つめ、精査し組み立て、今秋からは経営改革委員会を設置し、社員中心にワーキングチームを組み、更なる経営削減や顧客の獲得に全力を挙げている。市も副市長が副社長の立場から、経営分析や金融機関との意見調整を行い、取締役会において黒壁の方向性について議論をしている。黒壁は長浜のシンボルとして将来に引き継ぐ地域資産であると考えている。今後も官民一体となつて取り組みが実を結び、経営改善がスマーズに進む様に積極的に関わっています。

**長浜駅周辺整備について**



山崎正直（新しい風）

問 長浜駅南地区整備について。

答 現在施設建築物の建築工事が進められており、平成27年1月末には工事が完了する予定です。併設される立体駐車場は誰もが利用できる時間貸しの駐車場です。

問 長浜駅北地区の整備について。

答 駅前という利便性を活かし、民間活力による集合住宅の整備を考えています。平成30年度内の竣工をめざし、北地区の整備完了をもって長浜駅周辺整備がおおかた完了します。

問 経営姿勢と市の関与について問う。

答 経営トップである社長は、黒壁は長浜に必要な存在であり、将来に渡り存続させる為に、抜本的な改革に取り組んでい

問 地方創生に向けての副市長の手腕について。

答 これまでの行政経験があることから、市の課題や特長を熟知している

問 長浜駅東地区の整備について。

答 第三セクター「えきまち株式会社」が事業を主導し、身の丈にあつた施設整備を考えていま

## 寄付金控除制度の拡充について

中島 康雄（改革ながはま）



- 問 市の判断で寄付金が個人市民税から控除されるようになつたが、控除の制度を設けてはどうか  
答 地域に密着した民間公益活動等を促進するため控除寄付金対象範囲の拡充を検討する。
- 問 公民館の利活用方針について  
答 公民館のコミュニティ施設化（条例設置）について、どのような内容で検討が進められ、何時設置されるのか問う。  
答 10年を一定の目途に取り組む。
- 問 地域づくりについて  
答 提案事業交付金交付について、事業成果がない事から池田市の例を参考に制度設計内容を変更してはどうか問う。  
答 多くの協議会に適用いただけるよう見直しを検討する。
- 問 公民館の利活用方針について  
答 公民館のコミュニティ施設化（条例設置）について、どのような内容で検討が進められ、何時設置されるのか問う。  
答 10年を一定の目途に取り組む。

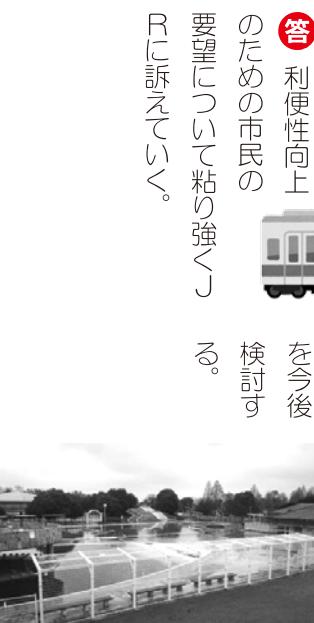


## 自治会との関係をどう考えているのか

中川 勇（新しい風）



- 問 人口減少が続く中、自治会との連携は大切。市の一部組織において上から田線となっていないか。  
答 役割分担を持ちつつも互いに連携し合い、共に進めるパートナーであると考えています。上から田線との指摘には、真摯に受け止め、対応したい。
- 問 財産の適切な管理と監視について  
答 固定資産台帳の整備について、複式仕訳に変換するシステム等固定資産台帳の管理システムの整備を図つてはどうか問う。
- 問 自治会に対して、必要な行政情報はしっかりと提供しているのか。  
答 自治会からの報告数と異なる発送を行つじとのないよう、今一度周知徹底を図りたい。
- 問 不明な森林を増さないための方策は。また地籍調査で森林組合をもつと活用すべきではないか。  
答 届出制度のほか、関係部局間での情報の共有化を図つています。指摘の通り、森林組合は、唯一山の境界情報を知る組織であると考えています。
- 問 自治会要望に責任ある対応ができるいるのか。  
答 聞き内容に応じて現地確認等を行い、予算状況を踏まえ判断して、対応の可否等を回答していくます。
- 問 地域資源を活かした創業支援について。  
答 各組織と連携し長浜の強みを生かした商品の開発や販路拡大の支援を推進する。
- 問 県スポーツの森・プールの跡地利用について問う  
答 県の方針をふまえ地域要望を聞く中で利活用を今後検討する。



## 定住促進と創出について

柴田光男（改革ながはま）



## 一般質問



## 北部地域活性化について

東 久雄（公明党）



この町で  
夢かなえたい



地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の活用を問う。

答 地域おこし協力隊の活動につきましては、各地の自治体が受け入れを行つておる、人口減少や高齢化の著しい地域に都市部地域からのおきましても、地域協力活動を行うたれにつけましては、各地の自治体が受け入れを行つており、人口減少や高齢化の著しい地域に都

市部の地域からの意欲ある若者の新鮮な視点と活力を取り入れることで地域が元気になり新しい功例も多く、地域の活性化

制度の支援を。

化施策の大変有効な手段として考へています。北部地域におきましても、地域おこし協力隊員に北部地域に住んでいただき、地域協力活動を行つた

め、地域づくり協議会や関係団体と協議を進めながら、隊員の活動体制と地域の協働での取り組み体制の準備を進めていきます。

若者の移住に結び付く

用につきましては、各地の自治体が受け入れを行つており、人口減少や高齢化の著しい地域に都

市部の地域からの意欲ある若者の新鮮な視点と活力を取り入れることで地域が元気になり新しい功例も多く、地域の活性化

## 生活・環境

### 獣害対策について

矢守昭男（改革ながはま）



問 高齢者福祉の観点から高齢者の生き甲斐としての農業を守る方策について問う。

答 獣害防護柵の設置が

最も効果のある対策として今後も先進的な技術や捕獲方法の研究に努める。

答 獣害対策の予算が少

なく、市では集落ぐるみの獣害対策の推進と防護柵の共同設置にて被害は徐々に減少してまいりました。

答 実のなる樹木の計画的植栽について

現在の所、山中での餌の確保による効果は充分には実証されず、か

えつて野性獣の繁殖を誘発させる懸念になり、現

時点は捕獲・防除・緩衝

帯整備を3本柱として推進にて今後も更なる被害軽減に努める必要と考え

ている。

問 住宅を取り上げられた人もいるなか、住宅の改善が必要な所はいつまでも改善できないのはなぜか。

答 青浦改良住宅の譲渡に向けては、現在開発区

域界の確定に向けて関係地先の自治会と協議し、

锐意進めているところです。譲渡に向けた環境整備の進捗が大変遅れ、地

域住民や関係者には大変迷惑をかけている。引き続き早急の課題解決に努力する。

問 自分の子どもは、このバスに乗せられるのか。

答 運転手には安全運転研修を実施し安全意識の認識を持つこと、また日々の点検や法定点検を

しっかりと行い、安心安全

を第一に

運行します。

市民に厳しく、自分には甘く  
一向に改善が進まない  
**木之本田部住宅問題**

西尾孝之（所属会派なし）

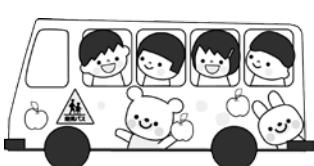


問 獣害対策の予算が少すぎないか。

答 平成23年は約2千2百万円が、平成25年は約9百万円と減少しており、今後とも予算を十分に活用して捕獲・防除費

問 いつになつたら市民の安心、安全の改善が出来るのか。

答 行き止まり道路の改善については、いくつかの困難な作業があり、これの解決に向けて、地元



## 平成26年長浜市議会第4回定例会議決結果表

### 賛否の分かれた議案・請願・意見書

議案番号	案 件		新しい風										改革ながはま							日本共産党		公明党		無		
			佐 金 利 幸	阪 本 重 光	柴 田 清 行	竹 本 直 隆	轟 保 幸	中 川 勇	西 畠 定 幸	藤 井 繁	松 本 長 治	森 田 義 人	山 崎 正 直	浅 見 勝 也	石 田 節 子	草 野 豊	柴 田 光 男	中 川 リ ョ ウ	中 高 康 雄	矢 守 昭 男	吉 田 豊	浅 見 信 大	鬼 頭 明 男	竹 内 達 夫	東 久 雄	峰 山 紀 子
第118号	長浜市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成 多数	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第119号	長浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成 多数	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第124号	長浜市職員の給与に関する条例及び長浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	賛成 多数	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 第13号	高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願	賛成 少数	不採択	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
請 願 第14号	子ども医療費助成制度の拡充を求める請願	賛成 少数	不採択	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
請 願 第15号	米価下落影響緩和緊急対策を求める請願書	賛成 少数	不採択	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
意見書案 第7号	農業振興地域制度における農振除外要件の見直しを求める意見書（意見書に対する継続審査の動議）	賛成 多数	継続 審査	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 表内の「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席を表します。 ※ 議長の竹本直隆は採決に加わりません。

※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

### 全員一致で賛成可決・承認・採択・可と答申したもの

第108号	専決処分事項の承認を求ることについて（専決第3号） 専決第3号 平成26年度長浜市一般会計補正予算（第6号）	第129号	長浜市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
第109号	平成26年度長浜市一般会計補正予算（第7号）	第130号	浅井ふれあいの里・プラザふくらの森条例の廃止について
第110号	平成26年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	第131号	湖北地域介護認定審査会共同設置規約の変更について
第111号	平成26年度長浜市診療所特別会計補正予算（第3号）	第132号	工事請負契約の変更について
第112号	平成26年度長浜市介護保険特別会計補正予算（第2号）	第133号	工事請負契約の変更について
第113号	平成26年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	第134号	南郷里公民館の指定管理者の指定について
第114号	平成26年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	第135号	西黒田公民館等の指定管理者の指定について
第115号	平成26年度長浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	第136号	高月公民館の指定管理者の指定について
第116号	平成26年度長浜市木之本・高月水道事業会計補正予算（第1号）	第137号	小谷城戦国歴史資料館の指定管理者の指定について
第117号	平成26年度長浜市病院事業会計補正予算（第1号）	第138号	湖北デイサービスセンターの指定管理者の指定について
第120号	長浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	第139号	虎姫駅コミュニティハウス等の指定管理者の指定について
第121号	長浜市保育所条例等の一部改正について	第140号	高山キャンプ場の指定管理者の指定について
第122号	長浜市情報公開条例等の一部改正について	第141号	大見いこいの広場の指定管理者の指定について
第123号	長浜市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	第142号	己高庵の指定管理者の指定について
第125号	長浜市税条例の一部改正について	第143号	財産の譲渡について
第126号	長浜市行政財産目的外使用料条例の一部改正について	諮問第8号 諮問第9号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
第127号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について	請 願 第16号	米価下落等に関する意見書の提出を求めるについて
第128号	長浜市農業集落排水処理施設条例等の一部改正について	意見書案 第8号	米価下落等に関する意見書

### 先進市等の事業を常任委員会で視察しました

3つの常任委員会では、政策提案等に資するため、行政視察を実施しました。

### 総務教育常任委員会行政視察

◆ 視察日 平成26年11月5日～6日  
◆ 視察先・視察内容  
① 島根県江津市  
② 島根県松江市  
『過疎地域の課題解決型ビジネスの創業を支援するまち』

◆ 視察日 平成26年10月20日～21日  
◆ 視察先・視察内容  
① 長野県塩尻市  
② 長野県松本市  
『元気つ子応援事業』  
『健康新延伸都市・松本』

### 産業建設常任委員会行政視察

◆ 視察日 平成26年10月29日～30日  
◆ 視察先・視察内容  
① 山口県周南市  
② 長野県松本市  
『中心市街地活性化事業・徳山駅周辺整備事業』  
『公共交通基本条例・治水浸水対策』

# 平成27年1月5日、新庁舎グランドオープンに伴い議場が新しくなりました。

新議場での本会議は、平成27年第1回定例会から開催いたします。

ぜひ、市民の皆様に新しい議場で傍聴いただきたいと思います。



◎新しい議場は、新庁舎東館6階に位置し、旧庁舎にはなかったエレベーターが近くに設置されています。また、議場には車椅子昇降機・車椅子専用のスペースを設置しました。



## 議案採決システムを導入



◎議場左右4カ所に60インチモニターを設置し、中継映像や議員出席数が表示できます。また、議案採決システムを導入、その結果を表示することができます。市民の皆さんに分かりやすい議会を目指します。

## 今後の会議予定（1月15日以降）

2月27日(金) 第1回定例会開会日

3月10日(火)～12日(木) 一般質問

3月13日(金) 産業建設常任委員会

3月16日(月) 健康福祉常任委員会

3月17日(火) 総務教育常任委員会

3月19日(木) 第1回定例会閉会日

※（日程は変更される場合があります。）  
この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。  
詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

4月16日(木) 定例常任委員会

10時～ 産業建設常任委員会

13時～ 健康福祉常任委員会

15時～ 総務教育常任委員会

5月21日(木) 定例常任委員会

10時～ 産業建設常任委員会

13時～ 健康福祉常任委員会

15時～ 総務教育常任委員会

## 議会の会議を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

市議会のホームページを  
是非ご覧ください。  
<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/14,,html>

ながはま市議会だより  
編集委員会

▼私たちには先人への感謝を忘れず、  
そのバトンを次の世代へ繋いでいく努力をしなければなりません。  
これまでにもこれからも議員一同、  
矜持と誇りを胸に、未来を貢献えながら市民の皆様と共に歩んで参ります。  
▼皆様方の「健勝」「多幸」を祈念申し上げ、編集後記とさせていただきます。

